隔月誌（2019年7月発行）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

かなえるレター

KANAERU LETTER

vol.38
2019



今号の表紙　大地くん

「未来を掴む練習」

自宅をはじめ、放課後等デイサービスや学校でも
小さな目標を立て、上手く箸を使えるようになるために
日々、取り組んでいます。

担当: 作業療法士　中辻

かなえるリンク　検索

かなえるリハビリ訪問看護ステーション
〒550-0015
大阪府大阪市西区
南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室
TEL 06-6531-3500
FAX 06-6531-3510

ご利用者数（2019/6/21 時点）

介護保険…	576名
医療保険…	394名
その他　…	0名
計	970名（社員数96名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション住之江
〒559-0001
大阪府大阪市住之江区
粉浜3-15-9
コテジャルダン 203号室
TEL 06-4701-8554
FAX 06-4701-8556

ご利用者数（2019/6/21 時点）

介護保険…	52名
医療保険…	31名
その他　…	0名
計	83名（社員数10名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション岸和田
〒596-0044
大阪府岸和田市
西之内町9-6　2階
TEL 072-423-0567
FAX 072-423-0568

ご利用者数（2019/7/1 開設）

介護保険…	252名
医療保険…	77名
その他　…	0名
計	329名（社員数21名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都
〒604-8375
京都府京都市中京区
西ノ京池ノ内町19-11
御池KSビル202号室
TEL 075-803-0536
FAX 075-803-0537

ご利用者数（2019/6/21 時点）

介護保険…	161名
医療保険…	41名
その他　…	1名
計	203名（社員数17名）

かなえる TOPIC-01

「かなえるリハビリ訪問看護ステーション岸和田」を開設

かなえるリハビリ訪問看護ステーション岸和田 所長　田中　俊

令和元年7月1日、「かなえるリハビリ訪問看護ステーションサテライト泉州」は、**「かなえるリハビリ訪問看護ステーション岸和田」**と名称を変え、事業所として開設する運びとなりました。

事業所開設に伴い24時間対応体制を実施し、今まで以上に地域の皆様方の生活に寄り添ったサービス提供が出来るよう、職員一同取り組んでいく所存です。これからも、よろしくお願い致します。



所長
田中　俊
（理学療法士）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション岸和田 管理者　岸　理英子

令和元年7月1日、**【かなえるリハビリ訪問看護ステーション岸和田】**が事業所として開設となり、24時間対応体制も実施させていただけるようになりました。ご利用者の笑顔でいつも元気いっぱいのスタッフが揃っています。スタッフ一同、これまで以上に地域医療の一旦を笑顔で関わらせていただける事を嬉しく思います。

みなさま、どうぞよろしくお願い致します。



管理者
岸　理英子
（看護師）

2019年7月1日付で岸和田市に事業所を開設いたします。それに伴い名称を変更いたします。
『かなえるリハビリ訪問看護ステーション サテライト泉州』➡『**かなえるリハビリ訪問看護ステーション岸和田**』

かなえる TOPIC-02

「パーキンソン病の国際学会」に参加

株式会社かなえるリンク
経営企画部　作業療法士　桑原英生

令和元年6月6日(木)、The 5th World Parkinson Congress(以下「WPC」と称する)に参加させていただきました。WPCはパーキンソン病の当事者、家族、研究者、医療職、関連団体が参加する国際学会で、第5回となる今大会は京都で行われました。

私たちは、パーキンソン病の方の複視についての発表を行いました。複視は、見ているものや人が二重に見えてしまうという、パーキンソン病の症状のひとつです。今回の発表は、パーキンソン病特化型デイサービスPDリハビリデイサービスかなえるLIFE(岸和田市)のご利用者を対象に行った聞き取り調査をまとめた内容でした。

また、弊社の訪問リハビリのご利用者が「WPCビデオコンペティション」へ応募され、その作品が入賞し表彰されるなど、嬉しい出来事もありました。次号（9月号）、本誌コーナー「ご利用者とともに」では、そのご利用者の記事を掲載する予定です。是非ご覧ください。

今回、WPCを通してとても良い経験をさせていただきました。私自身、初めての国際学会でとても刺激になりました。ご指導いただいた、先生方、社内の先輩方、PDリハビリデイサービスかなえるLIFEのスタッフ、利用者さんに感謝です。このような機会をいただき、ありがとうございました。

先日、かなえるレターにご協力いただいたご利用者からお手紙が届きました。「かなえるレターが届き、私の絵が印刷されている事に驚き、とても嬉しく思いました。最近はスケッチしに行くこともつらくなり、ぼちぼち止めようという想いでしたが、日々の優しいご指導とこのかなえるレターを見て、もう少し頑張ろと思いました。ありがとうございました。」と書き綴ってありました。日々の生活をいかに充実させるか、活力を見出す事ができるかはその人の意欲次第だと思っています。今回、お手紙を下さったご利用者が『かなえるレター』を“**きっかけ**”に「絵を描く事を止めずに続けよう、もう少し頑張ろう。」と思っていただけたのであれば、スタッフ一同とても嬉しく思います。



広報課　川口 智之

リハビリ 豆知識

「100円ショップ」の便利グッズ



作業療法士
松村 加奈子
まつむら　かなこ

100円ショップで売られる「**日々の暮らしに役立つ商品**」の中から、ご利用者が実際に使っている物の一部をご紹介させていただきます。日常生活のちょっとした動作を手助けしてくれる物や、従来とは違う使い方をする事で便利な物、訓練や自主トレーニングの道具として自宅で使える物など、様々な面からご利用者の日常生活を支えている商品が沢山あります。
今回、全部をご紹介できませんが、いくつかご紹介したいと思います。

ペットボトル・缶オープナー



キャップにオープナーの輪をはめて、持ち手を軽くひねるだけでフタを開閉できる事ができます。



オープナーの持ち手のところに凹みがあるので、缶のフタを差し込んで、上に引き上げる手や指の力が弱い方に便利です。

S字フック





物干し台の両端にS字フックを引っ掛けて、竿をかける竿の高さを調整します。竿の高さが低くなるので、円背で手が上に上がりにくい方や、腰が痛い方、立位バランスの不安定な方が立って動作をするときに便利です。

「この商品よかった。これも使いやすかった!」などのお声をいただければ嬉しいです。

ご利用者「投稿コーナー」



作品 「塗り絵」

最近、「塗り絵」に取り組み始められました柏田さま。
色鉛筆を使い、色の濃淡を出し立体的な作品になっています。
“色んな発見”がありとても楽しいとのことです。

富田林市
80代 女性
柏田さま

担当: 作業療法士 小林



ハナショウブ



バ　ラ



チューリップ



ご利用者からの”投稿募集”

あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか?詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

— ご利用者とともに —



在宅での「看護・リハビリ」と関係機関との「連携」

作業療法士　中辻

大地くんは、算数が大好きな小学6年生で
日々、苦手なことにも前向きに取り組んでいます

「訪問リハビリ・看護」のサービスを開始

かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野では、連携している放課後等デイサービスに伺い、療法士の視点から、お子さまへの関わりのポイントなどをアドバイスしています。そこで出会った小学6年生の大地くんは、上手くできない生活動作が色々あります。手先を使う動作が苦手でお箸もそのひとつ。現在、子ども用の補助箸を使って食事をしています。

「いつか上手にできるようになる…」そう思っていたお母さまも、来年度迎える中学校進学をひかえて、「ずっとこのままなのでは、どうすれば手先を上手に使えるのか…」とご不安をお持ちでした。そんな中、訪問リハビリ・看護のサービスを知り、必要性を感じていただき、今年4月、当ステーションへサービス開始のご依頼をいただきました。

リハビリにおける様々な「工夫」

大地くんのお箸の使用に向けたリハビリは、①普通のお箸を持つ。②先を開いたり閉じたりする。③お箸で凹凸のあるものをつまむ。④お箸で滑りやすいものをつまむ、など段階を細かく分けて行なっています。小さなステップにすることで、“出来た!”と自信になり、日々頑張って取り組むことができています。

また、大地くんは、スマホゲームをしたり算数の問題集を見たりするのが大好きで、リハビリにコグトレさがし算(計算力・思考力・記憶力を高める課題)を取り入れるなど“楽しんで取り組める工夫”を行っています。



お箸で食べ物をさく練習



お箸で滑りやすいものを掴む練習



好きな算数を取り入れりなど、
楽しんで取り組めるように工夫しています

関係機関と連携をとりながら「支援」

お箸をはじめ、苦手な生活動作は、訪問リハビリの時間だけではなく、放課後等デイサービス、ご自宅や学校でも現状の確認と練習を繰り返し取り組んでいただけるように、ご提案をしています。

訪問看護では、看護師が大地くんの健康管理を行いながら、ご両親の不安や悩みを聴き、アドバイスを行っています。

当事業所の関わりはまだ数ヶ月。大地くんは、普通のお箸で食物をはさめるようになりましたが、問題なく食事ができるまでには至っていません。最近は、学校からの提案で給食時に補助箸ではなく、普通のお箸で食事練習を始めて下さっています。

まだまだ、十分な成果は出ていませんが、引き続き関係機関と連携をとり、大地くんが日々楽しく練習して様々な生活動作が上手になるように取り組んでいきます。

（作業療法士　中辻）

▶H26.4月	放課後等デイサービスを開始
▶H31.4月	訪問リハビリ・看護を開始

【※放課後等デイサービス】
障がいや発達に特性のあるお子さんが放課後や夏休みなどの長期休暇に利用できる福祉サービスです。